

注3

大学番号：085

[令和2年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

共同設置

北陸先端科学技術大学院大学大学院先端科学技術研究科
融合科学共同専攻（博士後期課程）

金沢大学大学院新学術創成研究科融合科学共同専攻（博士後期課程）

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

北陸先端科学技術大学院大学大学院：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
金沢大学大学院：国立大学法人金沢大学

令和2年5月1日現在

北陸先端科学技術大学院大学：作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 法規係長 干場 恭子

電話番号 0761-51-1017

（夜間） 0761-51-1111

F A X 0761-51-1088

e-mail houki@ml.jaist.ac.jp

金沢大学：作成担当者

担当部局（課）名 企画評価室

職名・氏名 企画係 森 洋輔

電話番号 076-264-5114

（夜間） 076-264-5114

F A X 076-234-4010

e-mail gikikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者、大学名

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学：北陸先端科学技術大学院大学
国立大学法人金沢大学：金沢大学大学院

(2) 調査対象大学等の位置

(北陸先端科学技術大学院大学)
〒923-1292
石川県能美市旭台一丁目1番地
(金沢大学)
〒920-1192
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

大学名	職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
北陸先端 科学技術 大学院大 学	学 長	(アサノ テツオ) 浅野 哲夫 (平成26年4月)	(テラノ ミノル) 寺野 稔 (令和2年4月)	令和2年3月31日付けで浅野哲夫学長が任期満了で退任し、寺野稔学長が就任(2)
	研究科長	(テラノ ミノル) 寺野 稔 (平成28年4月)	(ツカハラ トシフミ) 塚原 俊文 (令和2年4月)	令和2年4月1日付けで寺野稔研究科長が学長に就任し、塚原俊文研究科長が就任(2)
金沢大学	学 長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
	研究科長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生』を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

大学名	調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科 融合科学共同専攻 博士(融合科学、理学、工学)	理学関係	3年	5人	— 年次人	15人	
		工学関係					
金沢大学	大学院新学術創成研究科 融合科学共同専攻 博士(融合科学、理学、工学)	理学関係	3年	14人	— 年次人	42人	
		工学関係					

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
北陸先端科学技術大学院大学	A 入学定員	5 (—) [—]						0.80倍	—	令和2年度の定員充足に向け、10月期入学者選抜試験の実施について検討を行っている。
	志願者数	4 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []			
	受験者数	4 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []			
	合格者数	4 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []			
	B 入学者数	4 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []			
	入学定員超過率 B/A	0.80								
金沢大学	A 入学定員	14 (—) [—]						0.21倍	—	設置初年度の令和2年度選抜では、初回の入試を1月下旬に行ったため、進路未定の潜在的受験者が減少したと思われる。令和2年度の定員充足に向け、10月期入学者選抜を実施することとし、4月30日付で、同選抜の学生募集要項を公表した。この選抜によって定員充足に努める。また、令和元年度に採択された、本研究科を中心とする「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」により、海外の優秀な学生の獲得を目指す。さらに、社会人のリカレント教育の需要に応えるため、社会人学生の受入体制を整えるための検討を行っている。
	志願者数	4 (—) [3]	() []	() []	() []	() []	() []			
	受験者数	4 (—) [3]	() []	() []	() []	() []	() []			
	合格者数	3 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []			
	B 入学者数	3 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []			
	入学定員超過率 B/A	0.21								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
北陸先端科学技術大学院大学	1年次	4 [2] (-)	- [-] (-)					
	2年次							
	3年次							
	計	4 [2] (-)						
金沢大学	1年次	3 [2] (-)	- [-] (-)					
	2年次							
	3年次							
	計	3 [2] (-)						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区 分	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
	対象年度			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
北陸先端科学技術大学院大学	令和2年度	4 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
	令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
				令和3年度	人	人	
	令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
				令和3年度	人	人	
				令和4年度	人	人	
	合 計		0 人		0 人	0 人	
金沢大学	令和2年度	3 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
	令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
				令和3年度	人	人	
	令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
				令和3年度	人	人	
				令和4年度	人	人	
	合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<北陸先端科学技術大学院大学>

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

<金沢大学>

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**として記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後に「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

(北陸先端科学技術大学院大学)

- ・ 担当教員の辞任により、「異分野「超」体験実践Ⅱ(JAIST)」の教員配置を「教授7、准教授3、兼任・兼担7」から「教授7、准教授2、兼任・兼担7」に変更。担当教員(専任)補充のため、令和2年3月AC教員審査提出済み。
- ・ 担当教員の辞任により、「海外武者修行A(JAIST)」の教員配置を「教授7、准教授3」から「教授7、准教授2」に変更。担当教員(専任)補充のため、令和2年3月AC教員審査提出済み。
- ・ 担当教員の辞任により、「海外武者修行B(JAIST)」の教員配置を「教授7、准教授3」から「教授7、准教授2」に変更。担当教員(専任)補充のため、令和2年3月AC教員審査提出済み。
- ・ 担当教員の辞任により、「海外武者修行C(JAIST)」の教員配置を「教授7、准教授3」から「教授7、准教授2」に変更。担当教員(専任)補充のため、令和2年3月AC教員審査提出済み。
- ・ 担当教員の辞任により、「国際インターンシップ(JAIST)」の教員配置を「教授7、准教授3」から「教授7、准教授2」に変更。担当教員(専任)補充のため、令和2年3月AC教員審査提出済み。
- ・ 担当教員の見直しにより、「データ分析学特論」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 履修計画の見直しにより、「解析力学特論」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3③」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「材料設計特論」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「メディアデザイン特論」の教員配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担8」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ロボティクス」の教員配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員の辞任により、「現代脳計算論」の教員配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員の辞任により、「ゼミナール・演習Ⅱ(JAIST)」の教員配置を「教授7、准教授3」から「教授7、准教授2」に変更。担当教員(専任)補充のため、令和2年3月AC教員審査提出済み。
- ・ 担当教員の辞任により、「融合科学研究論文Ⅱ(JAIST)」の教員配置を「教授7、准教授2」から「教授7、准教授1」に変更。担当教員(専任)補充のため、令和2年3月AC教員審査提出済み。

(金沢大学)

- ・ 担当教員の昇任により、「異分野「超」体験実践Ⅱ(金沢)」の教員配置を「教授13、准教授2、兼任・兼担5」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「海外武者修行A(金沢)」の教員配置を「教授13、准教授2、兼任・兼担5」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「海外武者修行B(金沢)」の教員配置を「教授13、准教授2、兼任・兼担5」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「海外武者修行C(金沢)」の教員配置を「教授13、准教授2、兼任・兼担5」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「海外武者修行D(金沢)」の教員配置を「教授13、准教授2、兼任・兼担5」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「国際インターンシップ(金沢)」の教員配置を「教授13、准教授2、兼任・兼担5」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「研究者として自立するために」の教員配置を「教授1」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「実践的データ処理・統計」の教員配置を「教授4、兼任・兼担2」から「教授5、兼任・兼担2」に変更。
- ・ 履修計画の見直しにより、「経営科学」の配当年次を「1・2・3③④」から「1・2・3①」に変更。
- ・ 履修計画の見直しにより、「統合生命科学特論」の配当年次を「1・2・3①②」から「1・2・3③④」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「統合生命科学特論」の教員配置を「教授5、准教授1、兼任・兼担2」から「教授6、兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「侵性・創傷看護技術学特論」の教員配置を「教授1、兼任・兼担2」から「教授1、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「バイオ・ファイナリー工学特論Ⅱ」の教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「ゼミナール・演習Ⅱ(金沢)」の教員配置を「教授13、准教授2、兼任・兼担5」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「融合科学研究論文Ⅱ(金沢)」の教員配置を「教授13、准教授2、兼任・兼担5」から「教授15、兼任・兼担5」に変更。
- ・ カリキュラムの充実を踏まえ、「時系列データ処理」を廃止、「光センシング論」を新設。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
北陸先端科学技術大学院大学	1 科目	36 科目	0 科目	37 科目	1 科目 []	36 科目 []	0 科目 []	37 科目 []	
金沢大学	1 科目	39 科目	0 科目	40 科目	1 科目 []	39 科目 []	0 科目 []	40 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
北陸先端科学技術大学院大学	1						
	2	該当なし					
	3						
金沢大学	1						
	2	該当なし					
	3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
北陸先端科学技術大学院大学	1						
	2	該当なし					
	3						
金沢大学	1	時系列データ処理	2	1・2・3④	専門	選択	カリキュラム充実のため、代替措置有
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（北陸先端科学技術大学院大学）
該当なし

（金沢大学）

下記のとおり、廃止科目の教育内容を、既存の「計測システム論」及び新設の「光センシング論」の2科目を以て十分に担保しており、かつ更に充実したカリキュラムを提供することが可能となる。教育内容をより充実させるための変更であることから、学生への履修への影響はない。学生へは、通知及びシラバスにて周知する。

【廃止理由及び対応内容】

廃止科目「時系列データ処理」は選択科目であり、その内容は、取得したデータの周波数解析や予測に関するものであり、宇宙観測データなど大規模データの解析に有効な内容であるが、講義の約半分は学生による調査研究であり、必ずしも大規模データを扱わない学生にとっては特殊な内容である。また、同講義はソフトウェア処理に関する内容が中心であるが、融合科学共同専攻の学生にとっては、データの取得方法について学修するハードウェアに関する講義も不可欠である。つまり、ハードウェアとソフトウェアの両面について、必ずしも電子情報工学を専門としない学生に教授する必要がある。そこで、「時系列データ処理」に代えて、既存の「計測システム論」に加え、「光センシング論」を新設し、当該2科目を以て、より広範囲の学修を可能とし、様々な分野を専門とする学生に資することとする。

当該2科目の概略は以下のとおりである。

・ 「計測システム論」では、コンピューターへのデータの取得方法に係るセンサや計測用電子回路といったハードウェアと、取り込んだデータの雑音除去、周波数解析やデータ予測といったソフトウェアについて教授する。この講義において、「時系列データ処理」の大部分の内容を包含する。なお、当初予定していた授業内容の「計測システムの実例：光距離センサシステム」を、新設科目の「光センシング論」に移行させ、代わりに「信号処理技術（5）時系列データの予測」を教授することにより、廃止科目の「時系列データ処理」の内容を加える。

・ 「光センシング論」では、レーザ光を用いた計測システムについて講義する。レーザ光を用いた計測は、ロボットアームの位置決め、測量や自動運転自動車におけるレーザレーダや医療診断機器など、工学だけでなく医学の分野にも応用されており、今後も利用が期待されている。この科目では、光の波としての性質と、光計測システムの応用例について教授する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(北陸先端科学技術大学院大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

(金沢大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(北陸先端科学技術大学院大学)

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	88,976㎡	0㎡	0㎡	88,976㎡				
	運動場用地	3,727㎡	0㎡	0㎡	3,727㎡				
	小 計	92,703㎡	0㎡	0㎡	92,703㎡				
	そ の 他	32,303㎡	0㎡	0㎡	32,303㎡				
	合 計	125,006㎡	0㎡	0㎡	125,006㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		73,022㎡ (73,022㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	73,022㎡ (73,022㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		15室	37室	236室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専任教員 1 名辞任のため (2)		
		先端科学技術研究科 融合科学共同専攻			9 10 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
	先端科学技術研究科 融合科学共同専攻	154,360 [73,270] 151,883 [72,327] (154,360 [73,270]) (151,883 [72,327])	1,166 [680] 1,163 [683] (1,166 [680]) (1,163 [683])	6,609 [6,582] 6,580 [6,579] (6,609 [6,582]) (6,580 [6,576])	26 28 (26) (28)	2,955 3,788 (2,955) (3,788)	2 (2)		
	計	154,360 [73,270] 151,883 [72,327] (154,360 [73,270]) (151,883 [72,327])	1,166 [680] 1,163 [683] (1,166 [680]) (1,163 [683])	6,609 [6,582] 6,580 [6,579] (6,609 [6,582]) (6,580 [6,576])	26 28 (26) (28)	2,955 3,788 (2,955) (3,788)	2 (2)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		3,076㎡		158 162		178,947			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		1,352㎡		テ ニ ス コ ー ト 2 面					
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教 員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

(金沢大学)

区 分		内 容				備考			
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校地等整理のため (2)			
	校 舎 敷 地	731,780㎡	㎡	㎡	731,780㎡				
	運動場用地	115,740㎡ 103,704㎡	㎡	㎡	115,740㎡ 103,704㎡				
	小 計	847,520㎡ 835,484㎡	㎡	㎡	847,520㎡ 835,484㎡				
	そ の 他	1,716,158㎡ 1,805,514㎡	㎡	㎡	1,716,158㎡ 1,805,514㎡				
	合 計	2,563,678㎡ 2,640,998㎡	㎡	㎡	2,563,678㎡ 2,640,998㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 改修等のため (2)			
		283,425㎡ 283,269㎡ (283,425㎡) -(283,269㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	283,425㎡ 283,269㎡ (283,425㎡) -(283,269㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 教室等用途変更・整理 のため (2)		
		162室 133室	208室 194室	1,194室 910室	10室 8室 (補助職員 人)	8室 6室 (補助職員 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		新学術創成研究科 融合科学共同専攻			15 室				
(5)図 書 ・ 設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	全て大学全体での共用分 購入・廃棄等のため (2)	
		電子ジャーナル 〔うち外国書〕							
	新学術創成 研究科 融合科学 共同専攻	1,915,628 [678,258] 1,928,640 [682,093] (1,915,628 [678,258]) -(1,928,640 [682,093])	36,423 [14,399] 36,120 [14,378] (36,423 [14,399]) -(36,120 [14,378])	9,783 [8,362] 8,007 [6,773] (9,783 [8,362]) -(8,007 [6,773])	8,290 8,154 (8,290) -(8,154)	8,433 8,063 (8,433) -(8,063)	212 230 (212) -(230)		
	計	1,915,628 [678,258] 1,928,640 [682,093] (1,915,628 [678,258]) -(1,928,640 [682,093])	36,423 [14,399] 36,120 [14,378] (36,423 [14,399]) -(36,120 [14,378])	9,783 [8,362] 8,007 [6,773] (9,783 [8,362]) -(8,007 [6,773])	8,290 8,154 (8,290) -(8,154)	8,433 8,063 (8,433) -(8,063)	212 230 (212) -(230)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 管理区分見直し、閲覧 機の配置換え (2)	
		19,794㎡ 19,793㎡		2,186 2,187		1,625,424			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		6,295㎡		可動屋根付プール(1,193㎡)		弓道場(162㎡)			
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	-	-	図書購入費	-	-	-	
		共 同 研 究 費 等	-	-	設備購入費	-	-	-	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		-	-	-	-	-	-	-	
	学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。
- ・ 構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	北 陸 先 端 科 学 技 術 大 学 院 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
先端科学技術研究科 先端科学技術専攻										
博士前期課程	2	282	-	564	修士 (知識科 学・情報科 学・マテリアルサイ エンス)	1. 20	-	平成28	石川県能美市 旭台 1－1	
博士後期課程	3	90	-	270	博士 (知識科 学・情報科 学・マテリアルサイ エンス)	1. 16	-	平成28	同上	
先端科学技術研究科 融合科学共同専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (融合科 学)	1. 00		平成30	同上	
博士後期課程	3	5	-	5	博士 (融合科 学・理学・ 工学)	0. 80	令和2	令和2		
知識科学技術研究科 知識科学専攻										
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (知識科 学)	-	-	平成20	同上	平成28年より 学生募集停止
情報科学技術研究科 情報科学専攻										
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (情報科 学)	-	-	平成20	同上	
マテリアルサイエンス研究 科 マテリアルサイエンス専 攻										
博士後期課程	3	-	-	-	博士 (マテリアルサイエ ンス)	-	-	平成20	同上	
大学院全体										
博士前期課程	2	292	-	584	-	1. 19	-	-		
博士後期課程	3	95	-	275	-	1. 15	-	-		

大 学 の 名 称	金 沢 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所 在 地	
【学類】	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
人間社会学域						1.02				
人文学類	4	145	－	580	学士 (文学)	1.02	－	平成20	石川県金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	1.02	－	平成20	同上	
経済学類	4	135	－	590	学士 (経済学)	1.02	－	平成20	同上	平成30年度より入 学定員185→135
学校教育学類	4	100	－	400	学士 (教育学)	1.03	－	平成20	同上	
地域創造学類	4	90	－	350	学士 (地域創造 学)	1.03	－	平成20	同上	平成30年度より入 学定員80→90
国際学類	4	85	－	325	学士 (国際学)	1.04	－	平成20	同上	平成30年度より入 学定員70→85
理工学域						1.02				
数物科学類	4	84	3年次 5	341	学士 (理学)	1.03	－	平成20	石川県金沢市角間町	令和2年度より編 入学受入
物質化学類	4	81	3年次 4	328	学士 (理学・工 学)	1.04	－	平成20	同上	令和2年度より編 入学受入
機械工学類	4	100	3年次 10	310	学士 (工学)	1.01	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
フロンティア工学類	4	110	3年次 5	335	学士 (工学)	1.01	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
電子情報通信学類	4	80	3年次 7	247	学士 (工学)	1.02	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
地球社会基盤学類	4	100	3年次 7	307	学士 (理学・工 学)	1.02	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
生命理工学類	4	59	3年次 2	179	学士 (理学・工 学)	1.02	平成30	平成30	同上	令和2年度より編 入学受入
機械工学類	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	平成20	同上	平成30年度より学 生募集停止
電子情報学類	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	平成20	同上	平成30年度より学 生募集停止
環境デザイン学類	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	平成20	同上	平成30年度より学 生募集停止
自然システム学類	4	－	－	－	学士 (理学・工 学)	－	－	平成20	同上	平成30年度より学 生募集停止
医薬保健学域						1.01				
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	1.00	令和2	平成20	石川県金沢市宝町13- 1	
薬学類	6	35	－	210	学士 (薬学)	1.04	－	平成20	石川県金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	－	160	学士 (創薬科 学)	1.04	－	平成20	同上	
保健学類						1.02				
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.01	－	平成20	石川県金沢市小立野 5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.01	－	平成20	同上	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	1.03	－	平成20	同上	

理学療法専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	1.02	-	平成20	同上	
作業療法専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	1.03	-	平成20	同上	
大学全体	-	1,726	85	6,919	-	1.01	-	-	-	
【大学院】										
人間社会環境研究科										
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学 術)	0.77	-	平成24	石川県金沢市角間町	
経済学専攻	2	6	-	12	修士 (経済学・ 経営学・学 術)	1.24	-	平成24	同上	平成30年度より入 学定員8→6
地域創造学専攻	2	14	-	28	修士 (地域創造 学・学術)	0.88	-	平成24	同上	平成30年度より入 学定員8→14
国際学専攻	2	10	-	20	修士 (国際学・ 学術)	0.75	-	平成24	同上	平成30年度より入 学定員8→10
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境 学・文学・ 法学・政治 学・経済 学・学術)	1.11	-	平成18	同上	
法学・政治学専攻	2	-	-	-	修士 (法学・政 治学)	-	-	平成24	同上	令和2年度より学 生募集停止
自然科学研究科										
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学 術)	0.96	-	平成24	石川県金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工 学・学術)	1.11	-	平成24	同上	
機械科学専攻	2	90	-	180	修士 (工学・学 術)	1.17	-	平成24	同上	
電子情報科学専攻	2	67	-	134	修士 (工学・学 術)	1.09	-	平成24	同上	
環境デザイン学専攻	2	40	-	80	修士 (工学・学 術)	1.03	-	平成24	同上	
自然システム学専攻	2	67	-	134	修士 (理学・工 学・学術)	1.04	-	平成24	同上	
数物科学専攻	3	15	-	45	博士 (理学・学 術)	0.66	-	平成16	同上	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工 学・学術)	0.42	-	平成26	同上	
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学 術)	0.54	-	平成26	同上	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学 術)	0.53	-	平成16	同上	

環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	1.00	-	平成26	同上	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.41	-	平成26	同上	
システム創成科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学・学術)	-	-	平成16	同上	平成26年度より学生募集停止
物質科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	-	平成16	同上	平成26年度より学生募集停止
環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	-	平成16	同上	平成26年度より学生募集停止
医薬保健学総合研究科										
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.86	-	平成24	石川県金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	256	博士 (医学)	0.93	-	平成28	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	0.81	-	平成24	石川県金沢市角間町	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	1.06	-	平成24	同上	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	0.87	-	平成24	同上	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.88	-	平成24	石川県金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	1.14	-	平成24	同上	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	平成24	同上	平成28年度より学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	平成24	同上	平成28年度より学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	平成24	同上	平成28年度より学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	-	平成24	同上	平成28年度より学生募集停止
先進予防医学研究科										
先進予防医学共同専攻	4	12	-	48	博士 (医学)	1.04	平成28	平成28	石川県金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科										
融合科学共同専攻	2	14	-	28	修士 (融合科学)	0.99	-	平成30	石川県金沢市角間町	
融合科学共同専攻	3	14	-	14	博士 (融合科学・理学・工学)	0.21	令和2	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	2	6	-	6	修士 (ナノ科学)	1.50	令和2	令和2	同上	
ナノ生命科学専攻	3	6	-	6	博士 (ナノ科学)	1.16	令和2	令和2	同上	
法学研究科										
法学・政治学専攻	2	8	-	8	修士 (法学・政治学)	0.00	令和2	令和2	石川県金沢市角間町	

法務専攻	3	15	-	45	法務博士 (専門職)	0.52	-	平成16	同上
教職実践研究科									
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	0.89	-	平成28	石川県金沢市角間町
大学院全体	-	862	-	2,016	-	0.86	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・構成大学ごとに記入してください。

5 教員組織の状況

<先端科学技術研究科融合科学共同専攻(博士後期課程)>

<新学術創成研究科融合科学共同専攻(博士後期課程)>

(1) -① 担当教員表

<北陸先端科学技術大学院大学>

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塚原 俊文 <令和2年4月> 保健学博士
		異分野「超」体験セッションⅡ 異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)
専	教授	林 幸雄 <令和2年4月> 博士(工学)
		異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)
専	教授	小谷 一孔 <令和2年4月> 工学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)
専	教授	青木 利晃 <令和2年4月> 博士(情報科学)
		異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)
専	教授	堀田 将 <令和2年4月> 工学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塚原 俊文 <令和2年4月> 保健学博士
		異分野「超」体験セッションⅡ 異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)
専	教授	林 幸雄 <令和2年4月> 博士(工学)
		異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)
専	教授	小谷 一孔 <令和2年4月> 工学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)
専	教授	青木 利晃 <令和2年4月> 博士(情報科学)
		異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)
専	教授	堀田 将 <令和2年4月> 工学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ (JAIST) 海外武者修行A (JAIST) 海外武者修行B (JAIST) 海外武者修行C (JAIST) 国際インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅱ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅱ (JAIST)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小矢野 幹夫 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 光物性特論【隔年】※ 電子機能特論【隔年】※ ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST） 融合科学研究論文Ⅱ（JAIST）
専	教授	松見 紀佳 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 材料形態特論【隔年】※ ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST） 融合科学研究論文Ⅱ（JAIST）
専	准教授	田中（杵渕） 宏和 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 現代脳計算論【隔年】 ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST） 融合科学研究論文Ⅱ（JAIST）
専	准教授	西村 俊 ＜令和2年4月＞ 博士（マテリアルサイエンス）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 機能性ナノ材料特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST） 融合科学研究論文Ⅱ（JAIST）
専	准教授	HO Anh Van ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 解析力学特論 ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST）
兼任	教授	山本 外茂男 ＜令和2年4月＞ 博士（知識科学）
		地域経営のための公共経済学
兼任	教授	神田 陽治 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		人間力・創出カイノベーション論

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小矢野 幹夫 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 光物性特論【隔年】※ 電子機能特論【隔年】※ ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST） 融合科学研究論文Ⅱ（JAIST）
専	教授	松見 紀佳 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 材料形態特論【隔年】※ ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST） 融合科学研究論文Ⅱ（JAIST）
兼任	講師	田中（杵渕） 宏和 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		現代脳計算論【隔年】
専	准教授	西村 俊 ＜令和2年4月＞ 博士（マテリアルサイエンス）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 機能性ナノ材料特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST） 融合科学研究論文Ⅱ（JAIST）
専	准教授	HO Anh Van ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 海外武者修行A（JAIST） 海外武者修行B（JAIST） 海外武者修行C（JAIST） 国際インターンシップ（JAIST） 解析力学特論 ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST）
兼任	教授	山本 外茂男 ＜令和2年4月＞ 博士（知識科学）
		地域経営のための公共経済学
兼任	教授	神田 陽治 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		人間力・創出カイノベーション論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	永井 由佳里 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy 博士（学術）（オーストラリア）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	教授	宮田 一乗 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	教授	西本 一志 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		知識創造支援メディア論 メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	教授	藤波 努 ＜令和2年4月＞ P h D（英国）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST）
兼任	教授	HUYNH Van Nam ＜令和2年4月＞ P h D（ベトナム）
		複合システム特論【隔年】
兼任	教授	赤木 正人 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		データ分析のための情報統計学Ⅱ
兼任	教授	篠田 陽一 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		高機能コンピュータネットワーク【隔年】
兼任	教授	丁 洛榮 ＜令和2年4月＞ P h . D .（韓国）
		ロボティクス【隔年】
兼任	教授	上原 隆平 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		実践的アルゴリズム理論【隔年】
兼任	教授	鵜木 祐史 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		知覚情報処理特論【隔年】

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮田 一乗 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	教授	西本 一志 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		知識創造支援メディア論 メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	教授	藤波 努 ＜令和2年4月＞ P h D（英国）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST）
兼任	教授	HUYNH Van Nam ＜令和2年4月＞ P h D（ベトナム）
		複合システム特論【隔年】
兼任	教授	赤木 正人 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		データ分析のための情報統計学Ⅱ
兼任	教授	篠田 陽一 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		高機能コンピュータネットワーク【隔年】
兼任	教授	丁 洛榮 ＜令和2年4月＞ P h . D .（韓国）
		ロボティクス【隔年】
兼任	教授	上原 隆平 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		実践的アルゴリズム理論【隔年】
兼任	教授	鵜木 祐史 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		知覚情報処理特論【隔年】

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	水谷 五郎 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		光物性特論【隔年】※
兼任	教授	高木 昌宏 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		先端生体機能特論【隔年】※
兼任	教授	徳光 永輔 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		先端デバイス特論【隔年】※
兼任	教授	村田 英幸 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		光物性特論【隔年】※
兼任	教授	鈴木 寿一 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		エレクトロニクス特論
兼任	教授	山口 政之 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		高分子化学特論Ⅱ ※ 分子設計特論【隔年】※
兼任	教授	大木 進野 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		先端生体分子科学特論【隔年】※
兼任	教授	大島 義文 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 電子機能特論【隔年】※
兼任	教授	高村 禪 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		先端生体機能特論【隔年】※
兼任	教授	前之園 信也 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		機能性ナノ材料特論 ※

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	水谷 五郎 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		光物性特論【隔年】※
兼任	教授	高木 昌宏 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		先端生体機能特論【隔年】※
兼任	教授	徳光 永輔 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		先端デバイス特論【隔年】※
兼任	教授	村田 英幸 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		光物性特論【隔年】※
兼任	教授	鈴木 寿一 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		エレクトロニクス特論
兼任	教授	山口 政之 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		高分子化学特論Ⅱ ※ 分子設計特論【隔年】※
兼任	教授	大木 進野 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		先端生体分子科学特論【隔年】※
兼任	教授	大島 義文 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 電子機能特論【隔年】※
兼任	教授	高村 禪 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		先端生体機能特論【隔年】※
兼任	教授	前之園 信也 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		機能性ナノ材料特論 ※

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	芳坂 貴弘 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST）
兼任	教授	金子 達雄 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		分子設計特論【隔年】※
兼任	教授	大平 圭介 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		先端デバイス特論【隔年】※
兼任	准教授	金井 秀明 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	准教授	伊藤 泰信 ＜令和2年4月＞ 博士（比較社会文化）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 知識人類学 ※
兼任	准教授	由井 隆也 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 人間力・創出カイノベーション論
兼任	准教授	姜 理恵 ＜令和2年4月＞ 博士（商学）
		人間力・創出カイノベーション論
兼任	准教授	DAM Hieu Chi ＜令和2年4月＞ 博士（材料科学）
		データ分析学特論【隔年】
兼任	准教授	リム 勇仁 ＜令和2年4月＞ 博士（情報学）
		先進無線ネットワーク【隔年】
兼任	准教授	池田 心 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST）

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	芳坂 貴弘 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST）
兼任	教授	金子 達雄 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		分子設計特論【隔年】※
兼任	教授	大平 圭介 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		先端デバイス特論【隔年】※
兼任	准教授	金井 秀明 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	准教授	伊藤 泰信 ＜令和2年4月＞ 博士（比較社会文化）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 知識人類学 ※
兼任	准教授	由井 隆也 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 人間力・創出カイノベーション論
兼任	准教授	姜 理恵 ＜令和2年4月＞ 博士（商学）
		人間力・創出カイノベーション論
兼任	准教授	DAM Hieu Chi ＜令和2年4月＞ 博士（材料科学）
		データ分析学特論【隔年】
兼任	准教授	リム 勇仁 ＜令和2年4月＞ 博士（情報学）
		先進無線ネットワーク【隔年】
兼任	准教授	池田 心 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST）

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	長谷川 忍 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		遠隔教育システム工学【隔年】
兼任	准教授	篠原 健一 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		分子設計特論【隔年】※
兼任	准教授	安 東秀 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		電子機能特論【隔年】※
兼任	准教授	平塚 祐一 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		機能性蛋白質特論 先端生体材料特論【隔年】※
兼任	准教授	筒井 秀和 ＜令和2年4月＞ 博士（生物科学）
		先端生体材料特論【隔年】※
兼任	准教授	松村 和明 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 高分子化学特論Ⅱ ※ 材料設計特論【隔年】
兼任	准教授	長尾 祐樹 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		機能性ナノ材料特論 ※
兼任	准教授	濱田 勉 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		先端生体材料特論【隔年】 ※
兼任	准教授	谷池 俊明 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		材料形態特論【隔年】※
兼任	准教授	山本 裕子 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		機能性ナノ材料特論 ※

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	長谷川 忍 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		遠隔教育システム工学【隔年】
兼任	准教授	篠原 健一 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		分子設計特論【隔年】※
兼任	准教授	安 東秀 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		電子機能特論【隔年】※
兼任	准教授	平塚 祐一 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		機能性蛋白質特論 先端生体材料特論【隔年】※
兼任	准教授	筒井 秀和 ＜令和2年4月＞ 博士（生物科学）
		先端生体材料特論【隔年】※
兼任	准教授	松村 和明 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST） 高分子化学特論Ⅱ ※ 材料設計特論【隔年】
兼任	准教授	長尾 祐樹 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		機能性ナノ材料特論 ※
兼任	准教授	濱田 勉 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		先端生体材料特論【隔年】 ※
兼任	准教授	谷池 俊明 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		材料形態特論【隔年】※
兼任	准教授	山本 裕子 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		機能性ナノ材料特論 ※

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山口 拓実 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		先端生体分子科学特論【隔年】※
兼任	講師	MURUGANATHAN Manoharan ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		電子機能特論【隔年】※
兼任	講師	桶藪 興資 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		分子設計特論【隔年】※
兼任	講師	永井 健 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		先端生体材料特論【隔年】※
兼任	助教	比嘉 夏子 ＜令和2年4月＞ 博士（人間・環境学）
		知識人類学 ※
兼任	助教	BADAM Rajashekar ＜令和2年4月＞ 博士（マテリアルサイエンス）
		材料形態特論【隔年】※

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山口 拓実 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		先端生体分子科学特論【隔年】※
兼任	准教授	郷右近 英臣 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		データ分析学特論【隔年】
兼任	准教授	日高 昇平 ＜令和2年4月＞ 博士（情報学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	准教授	佐藤 俊樹 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	准教授	都 英次郎 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		材料設計特論【隔年】
兼任	講師	MURUGANATHAN Manoharan ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		電子機能特論【隔年】※
兼任	准教授	桶藪 興資 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		分子設計特論【隔年】※
兼任	講師	永井 健 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		先端生体材料特論【隔年】※
兼任	助教	比嘉 夏子 ＜令和2年4月＞ 博士（人間・環境学）
		知識人類学 ※
兼任	助教	BADAM Rajashekar ＜令和2年4月＞ 博士（マテリアルサイエンス）
		材料形態特論【隔年】※

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	謝 浩然 ＜令和2年4月＞ 博士（知識科学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	助教	高島 健太郎 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	助教	鳥居 拓馬 ＜令和2年4月＞ 博士（知識科学）
		メディアデザイン特論【隔年】※
兼任	助教	ELIBOL Armagan ＜令和2年4月＞ Doctor (Computer Sciences)（スペイン）
		ロボティクス【隔年】

＜金沢大学＞

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤（青木） 典子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	高橋 智聡 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	鈴木 健之 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤（青木） 典子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ 研究者として自立するために 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	高橋 智聡 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ 研究者として自立するために 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	鈴木 健之 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ 研究者として自立するために 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 純 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	須釜 淳子 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 実践的データ処理・統計 ※ 慢性・創傷看護技術学特講 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	水野 元博 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 実践的データ処理・統計※ 物性物理化学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	當摩 哲也 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 太陽電池工学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	菅沼 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 実践的データ処理・統計※ 知的自律移動ロボット工学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 純 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	須釜 淳子 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 実践的データ処理・統計 ※ 慢性・創傷看護技術学特講 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	水野 元博 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 実践的データ処理・統計※ 物性物理化学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	當摩 哲也 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 太陽電池工学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	菅沼 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 実践的データ処理・統計※ 知的自律移動ロボット工学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	坂本 二郎 ＜令和20年4月＞ 博士（学術）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） バイオメカニクス工学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	飯山 宏一 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		異分野「超」体験セッションⅡ 異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 計測システム論 ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	松井 三枝 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	小島 治幸 ＜令和2年4月＞ 博士（行動科学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 認知行動融合科学論Ⅰ 認知行動融合科学論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	河合 望 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy（米国）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 実践的データ処理・統計 ※ 考古学・文化遺産学学際研究Ⅰ 考古学・文化遺産学学際研究Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	坂本 二郎 ＜令和20年4月＞ 博士（学術）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために バイオメカニクス工学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	飯山 宏一 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		異分野「超」体験セッションⅡ 異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 実践的データ処理・統計 ※ 計測システム論 光センシング論 ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	松井 三枝 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	小島 治幸 ＜令和2年4月＞ 博士（行動科学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 認知行動融合科学論Ⅰ 認知行動融合科学論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	河合 望 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy（米国）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 実践的データ処理・統計 ※ 考古学・文化遺産学学際研究Ⅰ 考古学・文化遺産学学際研究Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小川 数馬 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	准教授	仁宮 一章 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） バイオリファイナリー工学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	教授	松本 邦夫 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 実践的データ処理・統計 ※ 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	教授	井上 啓 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	教授	WONG WING CHUEN RICHARD ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 分子細胞生物学 ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小川 数馬 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
専	教授	仁宮 一章 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために バイオリファイナリー工学特論Ⅱ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	教授	松本 邦夫 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 実践的データ処理・統計 ※ 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	教授	井上 啓 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 統合生命科学特論 ※ ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	教授	WONG WING CHUEN RICHARD ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 分子細胞生物学 ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	寒河江 雅彦 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 実践的データ処理・統計 ※ 経営科学 ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	教授	佐藤 賢二 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		生命情報特論
兼任	教授	古寺 哲幸 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		ナノバイオロジー
兼任	教授	大桑 麻由美 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		慢性・創傷看護技術学特講 ※
兼任	教授	中谷 壽男 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		慢性・創傷看護技術学特講 ※
兼任	教授	徳田 規夫 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		表面・界面工学特論Ⅱ
兼任	教授	森本 章治 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		酸化物エレクトロニクス
兼任	教授	猪熊 孝夫 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		薄膜電子工学
兼任	教授	山根 智 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		分散並列リアルタイムシステム設計検証論

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	寒河江 雅彦 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 実践的データ処理・統計 ※ 経営科学 ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	教授	佐藤 賢二 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		生命情報特論
兼任	教授	古寺 哲幸 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		ナノバイオロジー
兼任	教授	大桑 麻由美 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		慢性・創傷看護技術学特講 ※
兼任	教授	中谷 壽男 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		慢性・創傷看護技術学特講 ※
兼任	教授	徳田 規夫 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		表面・界面工学特論Ⅱ
兼任	教授	森本 章治 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		酸化物エレクトロニクス
兼任	教授	猪熊 孝夫 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		薄膜電子工学
兼任	教授	山根 智 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		分散並列リアルタイムシステム設計検証論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	増田 和実 ＜令和2年4月＞ 博士（体育科学）
		運動生理学特論
兼任	教授	谷内 通 ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		学習行動論
兼任	教授	中村 慎一 ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		比較先史文化論
兼任	准教授	柴田 幹大 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 生体分子構造動態論 ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	准教授	南保 英孝 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		データマイニング特論
兼任	准教授	田岡 東 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		分子微生物学
兼任	准教授	西村 達也 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		高分子材料化学概論

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	増田 和実 ＜令和2年4月＞ 博士（体育科学）
		運動生理学特論
兼任	教授	谷内 通 ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		学習行動論
兼任	教授	中村 慎一 ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		比較先史文化論
兼任	教授	多崎 恵子 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		慢性・創傷看護技術学特講 ※
兼任	教授	大江 真琴 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		慢性・創傷看護技術学特講 ※
兼任	准教授	柴田 幹大 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		異分野「超」体験実践Ⅱ（金沢） 海外武者修行A（金沢） 海外武者修行B（金沢） 海外武者修行C（金沢） 国際インターンシップ（金沢） 研究者として自立するために 生体分子構造動態論 ゼミナール・演習Ⅱ（金沢） 融合科学研究論文Ⅱ（金沢）
兼任	准教授	南保 英孝 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		データマイニング特論
兼任	准教授	田岡 東 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		分子微生物学
兼任	准教授	西村 達也 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		高分子材料化学概論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川江 健 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		酸化物デバイスプロセス論
兼任	准教授	今村 幸祐 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		デジタル映像処理論
兼任	准教授	後藤 由貴 ＜令和2年4月＞ 博士（情報学）
		時系列データ処理

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川江 健 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		酸化物デバイスプロセス論
兼任	准教授	今村 幸祐 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		デジタル映像処理論
兼任	准教授	藤野 陽 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		慢性・創傷看護技術学特講 ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

＜北陸先端科学技術大学院大学＞

【令和2年度】

- ・専任教員の田中（杵渕）宏和の辞任のため、専任教員から兼任教員（講師）に変更し、これに伴う担当教員の見直しにより、当該教員の担当授業科目を変更。専任教員の後任補充については、AC教員審査を受審中（令和2年3月提出済み）。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員に、郷右近英臣、日高昇平、佐藤俊樹、都英次郎、謝浩然、高島健太郎、鳥居拓馬、ELIBOL Armaganが就任。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の永井由佳里が辞任。
- ・昇任のため、兼任教員の桶殿興資の職名を准教授に変更。

【令和3年度】

--

【令和4年度】

--

＜金沢大学＞

【令和2年度】

- ・担当教員の見直しにより、専任教員の後藤（青木）典子、高橋智聡、鈴木健之、佐藤純、須釜淳子、水野元博、當摩哲也、菅沼直樹、坂本二郎、飯山宏一、松井三枝、小島治幸、河合望、小川数馬、仁宮一章の担当授業科目を変更。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の松本邦夫、井上啓、WONG WING CHUEN RICHARD、寒河江雅彦、柴田幹大の担当授業科目を追加。
- ・担当教員の見直しにより、兼任教員の多崎恵子、大江真琴、藤野陽が就任。
- ・兼任教員の後藤由貴が退職。
- ・昇任のため、専任教員の川小川数馬、仁宮一章の職名を教授に変更。

【令和3年度】

--

【令和4年度】

--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。
- ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
北陸先端科学 技術大学院大 学	2 名	2 名	0 名
金沢大 学	5 名	4 名	0 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数【大学院】

大学名	設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
北陸先端科学 技術大学院大 学	7	3	0	0	10	0	7	2	0	0	9	0
	(7)	(3)	(0)	(0)	(10)	(0)						
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				
	9	1	0			8	1	0				
	(9)	(1)	(0)									
金沢大 学	13	2	0	0	15	0	15	0	0	0	15	0
	(13)	(2)	(0)	(0)	(15)	(0)						
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				
	20	0	0			20	0	0				
	(20)	(0)	(0)									
大学名	現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
北陸先端科学 技術大学院大 学	7	2	0	0	9	0	7	4	0	0	11	0
	[]	[Δ1]	[]	[]	[Δ1]	[]	[]	[1]	[]	[]	[1]	[]
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				
	8	1	0			10	1	0				
	[Δ1]	[]	[]		[1]	[]	[]					
金沢大 学	15	0	0	0	15	0	15	0	0	0	15	0
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				
	20	0	0			20	0	0				
	[]	[]	[]		[]	[]	[]					

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
北陸先端科学技術大学院大学	65 歳	0 名	1 名
金沢大学	65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{24}{25} = \boxed{96} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
北陸先端 科学技術 大学院大 学	1	准教授	田中（杵渕） 宏和	R2.3	選択	異分野「超」体験実践Ⅱ（JAIST）	①	R2.3退職のため就任辞退（2）			
					選択	海外武者修行A（JAIST）	①				
					選択	海外武者修行B（JAIST）	①				
					選択	海外武者修行C（JAIST）	①				
					選択	国際インターンシップ（JAIST）	①				
					選択	現代脳計算論	②				
					選択	ゼミナール・演習Ⅱ（JAIST）	①				
					選択	融合科学研究論文Ⅱ（JAIST）	①				
金沢大学					該当なし						
	合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
	就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
	1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	8	科目	選択	7	科目	選択	1	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	1	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
北陸先端 科学技術 大学院大 学				該当なし										
金沢大学				該当なし										
	合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
	辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
	0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	8 科目	選択	7 科目	選択	1 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	8 科目	計	7 科目	計	1 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{25} = \boxed{4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
北陸先端 科学技術 大学院大 学					該当なし									
金沢大学					該当なし									
	合計					後任補充状況の集計								
	辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
	0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

北陸先端科学技術大学院大学：就任を辞退した専任教員の授業科目8科目のうち、7科目については、専任教員全員が担当する科目であり、他の専任教員が対応しているため支障はない。なお、専任教員の後任補充については、教員審査を受審中（令和2年3月提出済み）であり、令和2年7月からの就任を予定している。残り1科目については、退職により辞退した専任教員が非常勤講師として授業を担当するため、授業科目の実施に支障はない。これら科目について、学生には、履修案内（Web）、時間割（Web）等により周知する。
金沢大学：該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (R1)	「融合科学」に該当する研究成果や養成される人材像については説明されたものの、実際に博士（融合科学）の学位を授与するにあたっては、学生や社会に対しての説明責任を一層果たすことができるよう、「融合科学」の内容や観点について継続的な検討を行うこと。また、新たな知を創出するとしている融合科学という学位を実際に授与するにあたって、学位授与の基準を含め、どのような検討を行ったのかについて、設置計画履行状況報告書において報告すること。	遵守事項 令和元年12月9日の両大学の専攻長間で博士後期課程の授業科目の実施方法、研究指導方法・体制等について協議し、研究テーマとして設定する様々な社会課題を整理したところであるが、高齢社会における健康、エネルギー・資源・環境、人とシステムとの調和と融合等の個別の事象に応じて、その課題解決に向けた科学技術イノベーションに重要な「異分野融合」の観点を再整理する必要があるという結論に至った。この観点の下、令和2年3月、修士課程において、情報科学と認知科学、情報科学と脳科学、考古学と機械工学等、それぞれの組合せにおける分野融合の視点を加味した上で、ディプロマ・ポリシーに基づき精査し、修士（融合科学）の学位を授与したところである。この実績を踏まえ、博士後期課程において学生に博士（融合科学）の学位を授与するに当たり、修士課程と同様に、個別の事象に応じた異分野融合の観点を加味した上で、複数の科学分野の知見を融合させて自身の学術体系によって新しい知を創出した融合科学として認めるための要件、それに至るための教育・指導方法について、引き続き検討を行うこととした。 また、令和2年3月27日に開催した令和元年度融合科学共同専攻FD研修会において、上記の検討状況を両大学の教員間で共有した。	履行中 引き続き、両大学の教職員間で「融合科学」の内容や観点について検討し、博士（融合科学）の学位を授与するにふさわしい学修指導計画や研究計画を策定する。
認 可 時 (R1)	本専攻において授与する3種類の学位の英語名称について、博士（理学／工学）については、「Doctor of Philosophy in Science/in Engineering」とされている一方で、博士（融合科学）については、修学内容を表す「in Transdisciplinary Sciences」を学位ではなく成績証明書に付記する形となっていることから、英語名称の考え方、意味について学生等から理解が得られるよう英語名称の整理・検討を行うことが望ましい。	助言事項 左記の指摘を踏まえ改めて本共同専攻の両大学の教員間で専門分野を超えて学位の英語名称の整理・検討を行った結果、当初の設置計画のとおり、国際通用性を担保する観点から、本共同専攻において養成する人材や教育内容と共通する分野融合型の教育プログラムを実施している海外の大学の事例調査結果を踏まえ、博士（融合科学）の英語名称については、「Doctor of Philosophy (Ph.D)」とし、かつ成績証明書については、学生本人の修学内容を適切に示している本共同専攻の名称と合わせた「in Transdisciplinary Sciences」を付記するということ結論に至った。 この英語名称の考え方、意味について、本共同専攻に入学した学生や共同研究を行っている学外の研究者に対し聞き込み調査を行い、十分な理解が得られるか確認することとした。	履行中 本共同専攻への入学者及び共同研究を行っている学外の研究者に左記の取扱いとする事について聞き込み調査を行い、その結果を踏まえて両大学の教員間で再度協議し、学位の英語名称を整理することとする。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<北陸先端科学技術大学院大学>

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

<金沢大学>

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学>

① 実施体制 a 委員会の設置状況 金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合科学共同専攻連絡協議会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 議題により適宜開催。平成31（令和元）年度は書面附議にて12回開催した。毎回全委員が出席した。 c 委員会の審議事項等 (1) 学生の身分及び学生支援方針に関する事項 (2) 授業科目の編成、実施（教育手法を含む。）及び担当教員の配置に関する事項 (3) 専任教員、研究指導教員及び研究指導補助教員の配置に関する事項 (4) 入学者選抜の方針に関する事項 (5) 成績評価の方針に関する事項 (6) 学位審査、学位の授与及び課程修了の認定に関する事項 (7) 戦略的な学生募集活動、広報及び情報発信に関する事項 (8) 共同教育課程に係る教育研究活動等の状況及び自己点検・評価に関する事項 (9) 共同教育課程に係るファカルティ・ディベロップメントの推進に関する事項 (10) その他連絡協議会が必要と認めた事項 ② 実施状況 a 実施内容 ・両大学共同で融合科学共同専攻を運営するために必要となる運用面の改善に向けた意見交換を行う。 平成31（令和元）年度は、博士後期課程のカリキュラムを改めて確認し、授業科目の実施方法、研究指導方法体制等について意見交換を行った。その中で、「融合科学」の内容や観点（複数の科学分野の知見を融合させた自身の学術体系及び新しい知を創出した科学と認めるための要件、それに至るための教育・指導方法）について確認した。 b 実施方法 ・テレビ会議システムを利用した研修会 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・令和元年度融合科学共同専攻FD研修会（令和2年3月27日開催、15名参加）	
---	--

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・意見交換の結果を令和2年度の両大学教員による学生の指導体制及びラボローテーションの運用に反映させることとした。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・両大学それぞれで実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・両大学それぞれで実施

<北陸先端科学技術大学院大学>

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - 教育研究専門委員会（規則は別紙のとおり）
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - 毎月1回（8月を除く）開催（委員のほとんどが毎回参加）
- c 委員会の審議事項等

（審議事項）

- (1) 学位論文の審査手続に関すること。
- (2) 入学料、授業料及び寄宿料の免除並びに奨学金に関すること。
- (3) 学生募集に関すること。
- (4) 教育の連携及び社会貢献に関すること。
- (5) 学生生活の支援及び指導に関すること。
- (6) 学生の進路、就職及びキャリア形成の支援に関すること。
- (7) 国費外国人留学生の推薦及び受入れに関すること。
- (8) その他教育研究に関すること。

（検討事項）

- (1) 寄附講座の設置に関すること。
- (2) 国際シンポジウムの開催計画に関すること。
- (3) 大学セミナーその他研究発表の実施に関すること。
- (4) 公開講座に関すること。
- (5) 競争的研究資金の獲得への対策に関すること。
- (6) 地域貢献事業に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか教員等の研究に関すること。
- (8) 教育課程の編成の方針に関すること。
- (9) 教育内容及び教育方法の改善に関すること。
- (10) 学生の表彰に関すること。
- (11) 非常勤講師に関すること。

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・「研究室教育における成績評価の方法について」をテーマとしたグループワーク
 - ・「副テーマ指導教員の在り方について」をテーマとしたグループワーク
 - ・「受験生に選ばれる大学院教育について」をテーマとしたグループワーク
- b 実施方法
 - ・グループワーク
- c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学FD

- ・研究室教育における成績評価の方法について（令和元年7月19日, 参加教員61名）
- ・副テーマ指導教員の在り方について（令和元年9月9日, 参加教員57名）
- ・受験生に選ばれる大学院教育について（令和元年12月13日, 参加教員57名）

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学の課題等について議論し、教員間で情報共有することによって、授業改善につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有（授業ごとに、各期の最終講義時に実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックする。

また、各期ごとに全体の集計結果をホームページで公開している。

＜金沢大学＞

① 実施体制

a 委員会の設置状況

新学術創成研究科融合科学共同専攻会議

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年4月21日 第1回専攻会議（書面付議）開催

c 委員会の審議事項等

(1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項

(2) 規程その他の教育に係る重要な規則の制定又は改廃に関する事項

(3) 教育に係る予算の執行に関する事項

(4) 教育課程の編成に関する事項

(5) 学生の円滑な修学等を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項

(6) 学生の入学又は課程の修了その他学生の在籍に関する事項及び学位の授与に関する事項

(7) 教育の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項

(8) 授業の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究の実施に関する事項

(9) その他教育に関する重要事項

のうち、当該専攻に係る事項

② 実施状況

a 実施内容

・北陸先端科学技術大学院大学と合同で行うFD研修会を本研究科独自のFD研修会とする。

・全学又は所属部局等において、FD研修会や各種FD活動を行う。

b 実施方法

・テレビ会議システムを利用した研修会

・全学のFD講演会と授業実践報告会については、講演会形式

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・現時点では実施前のため該当なし

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・現時点では実施前のため該当なし

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・有（授業ごとに、各期の最終講義時に実施）（予定）

b 教員や学生への公開状況、方法等

・担当教員に公開する（予定）

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<北陸先端科学技術大学院大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、令和2年4月の開設及びそれ以降の活動が順調に行われている。
全学FDや授業評価アンケート等をもとに、授業改善に取り組んでいる。

② 自己点検・評価報告書

学内規程に基づき、定期的に、全学的な自己点検評価を実施することとしている。

なお、法人評価等の時期を踏まえ、令和元年度以降の研究科としての実施については、次のとおり。

- ・令和元年度：大学機関別認証評価に際し、自己点検評価を実施。
(ただし、融合科学共同専攻(修士課程)を対象としたもの。)
- ・令和2年度：法人評価に際し、現況分析に係る自己点検評価を実施。
(ただし、融合科学共同専攻(修士課程)を対象としたもの。)
- ・令和3年度：金沢大学の認証評価に際し、自己点検評価を実施予定。

a 公表(予定)時期

- ・令和元年度実施分：令和2年3月に公表。
- ・令和2年度実施分：法人評価結果の確定後、令和3年6月頃に公表予定。
- ・令和3年度実施分：金沢大学の自己点検評価書に包含して令和3年度末を目途に公表予定。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開(令和元・2年度実施分)

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和8年度までに評価機関による大学機関別認証評価を受けるべく学内で検討中

<金沢大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨、目的に沿った整備等が行われ、学生受入れ、教育が実施されている。
FD活動等を基に、カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。

② 自己点検・評価報告書

学内規程に基づき、定期的に、部局の自己点検評価を実施することとしている。

なお、法人評価等の時期を踏まえ、令和元年度以降の研究科としての実施については、次のとおり。

- ・令和元年度：北陸先端科学技術大学院大学の認証評価に際し、自己点検評価を実施。
(ただし、融合科学共同専攻(修士課程)を対象としたもの。)
- ・令和2年度：法人評価に際し、現況分析に係る自己点検評価を実施。
(ただし、融合科学共同専攻(修士課程)を対象としたもの。)
- ・令和3年度：大学機関別認証評価に係る自己点検評価を実施予定。

a 公表(予定)時期

- ・令和元年度実施分：北陸先端科学技術大学院大学の自己点検評価書に包含して令和2年3月に公表。
- ・令和2年度実施分：法人評価結果の確定後、令和3年6月頃に公表予定。
- ・令和3年度実施分：令和3年度末を目途に公表予定。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(令和2・3年度実施分)

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度までに評価機関(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)の評価を受けるべく学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<北陸先端科学技術大学院大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

<金沢大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。